

2021年に当院皮膚科に紹介された患者さん870名の集計

皮膚科部長
(鑑 慎司)

2021年1月から同年12月までの1年間に当科に紹介された患者さん870名について集計しました。入院患者さんや手術患者さんの集計を公表している医療機関は多数ございますが、紹介患者さんの集計を公開している医療機関は滅多にないと推測します。

この集計をしてから、当科のウェブサイトには皮膚生検の説明同意文書とパッチテスト説明用紙を患者さんや医療機関向けに公開しました。手術でも簡単なものならば、皮膚生検と説明内容はほぼ同じです。

表1 紹介患者さんの年代

年齢	人数	年齢	人数
0歳代	19	60歳代	106
10歳代	45	70歳代	161
20歳代	68	80歳代	106
30歳代	71	90歳代	62
40歳代	111	100歳代	5
50歳代	116		

中高年の方が多かったですが、人生100年時代なのか100歳越えの方もいました。

表2 紹介患者さんの病名

病名群	人数
1 粉瘤	60
2 帯状疱疹	42
3 母斑細胞性母斑	34
4 蜂窩織炎	32
5 湿疹	29
6 脂漏性角化症	27
7 中毒疹、多形紅斑	22
8 蕁麻疹	20
8 脂肪腫	20
8 外傷後皮膚潰瘍	20
11 血管腫	19
12 うっ滞性皮膚炎・皮膚潰瘍	18
13 円形脱毛症	17
14 基底細胞癌	16
14 血管奇形	16
14 褥瘡	16
14 薬疹、薬疹疑い	16
18 痒疹	13
18 ガングリオン	13
20 アトピー性皮膚炎	12
20 白癬	12
20 リンパ節腫脹	12
20 有棘細胞癌	12
20 陥入爪	12
25 尋常性乾癬	11
25 水疱性類天疱瘡	11
27 金属アレルギー	10
28 掌蹠膿疱症	9
29 色素沈着症	8
29 皮膚線維腫	8

多かった疾患上位30傑を公表しました。大病院のような特定の疾患の専門外来を当科では実施しておりませんので、特別多い疾患はございません。様々な疾患の患者さんが受診しました。

表3 紹介患者さんが受けた検査

(直接鏡検、採血、ダーモスコープは除く)

検査	人数
超音波検査	105
皮膚生検	96
CT撮影	21
MRI撮影	18
パッチテスト	15
ABI(足関節上腕血圧比)	12
DLST(薬剤誘発性リンパ球刺激試験)	11
TBI(足趾上腕血圧比)	3
プリックテスト	2
皮内テスト	1
MED(最小紅斑量試験)	1

皮膚の奥深くにあるできものをみる超音波検査と、診断を確定するために皮膚の一部を切り取る皮膚生検が特に多かったです。CTやMRIなどの画像検査、化粧品や金属のパッチテストも実施しました。ただしPET/CTは当院にはございませんので、予めご了承ください。

表4 紹介患者さんが受けた処置

(いぼ冷凍凝固法、創傷処置、炭酸ガスレーザーは除く)

処置	人数
ナローバンドUVB照射	12
局所陰圧閉鎖処置	6
ガングリオン穿刺術	4
放射線照射	2
Qスイッチアレキサンドライトレーザー照射	1
モーズペースト	1
多血小板血漿処置	1

様々な処置を実施しております。ただしパルス色素レーザーやエキシマライトは当院にはございませんので、予めご了承ください。

表5 紹介患者さんが受けた手術

手術	人数
皮膚、皮下腫瘍摘出術	108
皮膚切開術	35
皮膚悪性腫瘍切除術(単純切除)	30
皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術	7
陥入爪手術	5
分層植皮術	4
全層植皮術	1
皮弁作成術	1
デブリードマン後に再建	1
マチワイヤ	1
口腔粘膜の手術	1
毛巣洞手術	1

がんではない皮膚のできもの(良性腫瘍)の手術、炎症性粉瘤や褥瘡などの皮膚切開術、皮膚がんの手術が多かったです。手術の大半は局所麻酔の日帰り手術でしたが、中には入院や全身麻酔を必要とする方もいました。

表6 紹介患者さんの入院の有無

入院	人数
紹介受診日に入院	64
後日に入院	38
入院せず	768

紹介受診日に入院するのは、蜂窩織炎、皮膚潰瘍の二次感染、帯状疱疹などの感染症が多かったです。